

Ⅱ 個別事業

第1 法人運営

1 組織運営

番号	事業名	財源			
(1)	評議員会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○法人の予算、決算、事業計画、事業報告及び業務又は財産の状況等に関する議決を行うために評議員会を年3回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月19日 201～203 会議室	議案第1号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期理事の選任 議案第2号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期監事の選任 議案第3号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号） 議案第4号 令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 議案第5号 令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算
第2回	12月19日 201～203 会議室	議案第6号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期理事の選任 議案第7号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）
第3回	3月26日 201～203 会議室	議案第8号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期理事の選任 議案第9号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号） 議案第10号 令和8年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業計画 議案第11号 令和8年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支予算

番号	事業名	財源			
(2)	評議員選任・解任委員会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○理事会から推薦された評議員候補者について、選任の決議を行った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月3日 団体室	○第25期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任 ○第26期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任

第 2 回	12 月 11 日 団体室	○第 26 期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任
-------	------------------	-------------------------------

番号	事業名	財源			
(3)	理事会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○法人内の業務の決定、予算、決算、事業計画、事業報告等の議決を行うために、理事会を年 6 回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第 1 回	6 月 3 日 202～203 会議室	議案第 1 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第 25 期評議員候補者の推薦 議案第 2 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第 26 期評議員候補者の推薦 議案第 3 号 令和 7 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第 1 号） 議案第 4 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正 議案第 5 号 調布市希望の家運営規程の一部改正 議案第 6 号 令和 6 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 議案第 7 号 令和 6 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算 議案第 8 号 令和 7 年度役員賠償責任保険の加入について 議案第 9 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任 議案第 10 号 令和 7 年度第 1 回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集 議案第 11 号 令和 7 年度第 1 回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会（定時評議員会）の招集
第 2 回	6 月 19 日 201～203 会議室	議案第 12 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第 28 期会長の選定 議案第 13 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第 28 期副会長の選定 議案第 14 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第 28 期常務理事の選定 議案第 15 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任
第 3 回	9 月 16 日 202～203 会議室	議案第 16 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正 議案第 17 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員給与規則の一部改正

		議案第18号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正 議案第19号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正 議案第20号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正 議案第21号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の期末手当及び勤勉手当に関する規程の一部改正 議案第22号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の人事考課制度に関する規程の一部改正
第4回	12月11日 202～203 会議室	議案第23号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第26期評議員候補者の推薦 議案第24号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期理事候補者の推薦 議案第25号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号） 議案第26号 令和7年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集 議案第27号 令和7年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会の招集
第5回	12月19日 201 会議室	議案第28号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期会長の選定 議案第29号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期副会長の選定 議案第30号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会顧問の選任
第6回	3月13日 202～203 会議室	議案第31号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期副会長の選定 議案第32号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第28期理事候補者の推薦 議案第33号 令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号） 議案第34号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正 議案第35号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員給与規則の一部改正 議案第36号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正 議案第37号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正 議案第38号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正 議案第39号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会経理規程の一部改正 議案第40号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会調布市希望の家運

		営規程の一部改正 議案第 41 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会希望の家深大寺運営規程の一部改正 議案第 42 号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会調布市総合福祉センター通所介護等運営規程の一部改正 議案第 43 号 令和 8 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業計画 議案第 44 号 令和 8 年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支予算 議案第 45 号 令和 7 年度第 3 回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会の招集
--	--	--

番号	事業名	財源			
(4)	三役会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○理事会、評議員会開催へ向けての調整など、法人内の業務や、人事の調整等を行うために三役会を年 4 回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第 1 回	5 月 29 日 団体室	○第 1 回理事会への提出案件等
第 2 回	9 月 4 日 団体室	○第 2 回理事会への提出案件等
第 3 回	12 月 4 日 団体室	○第 3 回理事会への提出案件等
第 4 回	3 月 5 日 団体室	○第 4 回理事会への提出案件等

番号	事業名	財源			
(5)	監査会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

○理事の業務執行の状況、事業の執行状況及び財産の状況を監査するため、令和 6 年度決算監査と令和 7 年度上半期監査を開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第 1 回	5 月 22 日	○前回（令和 6 年度上半期）監査講評における留意事項について（報

	202・203会議室	告) ○令和6年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算（事業・経理）説明 ○監査実施 ○監事からの講評
第2回	11月18日 203会議室・ 団体室	○前回（令和6年度決算監査）監査講評における留意事項について（報告） ○令和7年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会上半期監査（事業・経理）説明 ○監査実施 ○監事からの講評

番号	事業名	財源			
(6)	第三者委員会議	自主 基	補助	委託	事業

結果の概要

○苦情・要望の受付及び対応について報告し、解決の過程及び改善策について第三者委員よりアドバイスをいただいた。また、事故について報告した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	9月17日 団体室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和7年3月～令和7年8月分 出席委員3人 ○苦情解決実施要綱に基づく苦情解決の取組状況について
第2回	3月11日 団体室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和7年9月～令和8年2月分 出席委員3人

番号	事業名	財源			
(7)	表彰審査委員会	自主 基	補助	委託	事業

結果の概要

○永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民や団体並びに福祉事業に対する高額寄付者などを対象に、表彰基準に照らし合わせ顕彰者を決定した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	8月5日 団体室	○表彰状対象者（団体）の審査・選出 ○感謝状対象者（団体）の審査・選出

分析・課題

○令和7年度、市民による推薦はなかったが、今後も地域で活動されている方を推薦していただけるよ

う、市報・ふくしの窓・ホームページ等を活用し広く広報を行う。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	社協経営会議		市		

結果の概要

○会長、常務理事、管理職を構成メンバーとし、社協が抱える問題や緊急課題に対応するため毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月7日 団体室	○決算理事会・定時評議員会案件等 ○法人内の障害者雇用について ○第26期評議員候補者について
第2回	5月12日 団体室	○決算理事会・第2回理事会・定時評議員会案件等 ○人事考課制度の見直しについて
第3回	6月2日 団体室	○熱中症対策の強化について ○調布災害ネットワークについて ○他機関との連携について ○虐待防止委員会
第4回	7月7日 団体室	○ご寄付について ○OBメンター相談事業について
第5回	8月4日 団体室	○個々の生活と仕事の調和を推進する対策取組方針について ○生成AI利用に関するリスク管理について ○令和8年度に向けた調布市への予算要望等協議について ○職員の状況について
第6回	9月1日 団体室	○第3回理事会案件等 ○嘱託職員基本給引上げについて ○育児介護休業法改正に伴う改正内容について ○虐待防止委員会
第7回	10月6日 団体室	○第4回、第5回理事会・第2回評議員会案件等
第8回	11月10日 団体室	○民生児童委員一斉改選に伴う理事、評議員選任スケジュールについて ○総合福祉センター移転に向けたプロジェクトチームの設置について
第9回	12月1日 団体室	○民生児童委員一斉改選に伴う理事、評議員選任スケジュールについて ○電話相談事業について ○虐待防止委員会
第10回	1月5日 団体室	○第6回理事会・第3回評議員会案件等 ○副会長の交代について ○4月採用職員について ○調布市への令和8年度予算要求状況について
第11回	2月2日	○第6回理事会・第3回評議員会案件等

	団体室	○副会長の選定、理事の選任について ○法人全体 BCP 作成について ○法人窓口、電話対応の受付時間について ○令和8年度に向けた昇任試験について
第12回	3月2日 団体室	○3月理事会・評議員会案件等 ○虐待防止委員会

番号	事業名	財源			
(9)	社協管理職会議	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○管理職を構成メンバーとし、社協の課題を共有し課を超えて連携をはかるために毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月22日 団体室	○決算理事会・第2回理事会、定時評議員会案件等 ○令和7年度人事評価制度について ○各課の主な事業
第2回	5月27日 団体室	○決算理事会・第2回理事会、定時評議員会案件等 ○人事考課制度の見直しについて ○社協OBの側面支援について ○基金等の自主財源の活用について ○各課の主な事業
第3回	6月24日 団体室	○第3回理事会案件等 ○メンターの導入について ○人事評価について ○勤務時間の短縮について ○法人サーバーのトラブルについて ○各課の主な事業
第4回	7月22日 団体室	○第3回理事会案件等 ○チャレンジ調布との懇談における協議事項の確認 ○公印使用範囲の再確認 ○生成AIツール等の各部署での利用のあり方について ○再雇用満了職員のあり方について ○メンター相談について ○勤務時間の短縮について ○人事考課制度に関する規程の見直しについて ○市民活動支援センターメールボックス利用者からの苦情対応について ○各課の主な事業
第5回	8月26日	○第3回理事会案件等

	団体室	○嘱託職員の基本給の引上げについて ○育児介護休業法改正に伴う改正内容について ○生成 AI ツールの利用ルールについて ○再雇用満了職員の対応について ○メンター相談について ○勤務時間の短縮について ○各課の主な事業
第6回	9月24日 団体室	○第4回理事会・第2回評議員会案件等 ○管理団体に対する指導管理及び検査の実施について ○再雇用満了職員の対応について ○メンター相談について ○勤務時間の短縮について ○各課の主な事業
第7回	10月28日 団体室	○第4回、第5回理事会・第2回評議員会案件等 ○管理団体に対する指導管理及び検査の実施報告 ○人事評価指標について ○総合福祉センター移転に向けたプロジェクトチームの設置について ○主任職から主事職への降格について ○再雇用満了職員の対応について ○勤務時間の短縮について ○各課の主な事業
第8回	11月25日 団体室	○第4回、第5回理事会・第2回評議員会案検討 ○人事評価指標について ○再雇用満了職員の対応について ○メンター相談について ○勤務時間の短縮について ○電話相談事業について ○各課の主な事業
第9回	12月23日 団体室	○第6回理事会・第3回評議員会案件等 ○令和8年度調布市予算要求について ○職員の人事評価の実施について ○小地域交流事業の分掌事務の移管について ○各課の主な事業
第10回	1月27日 団体室	○第6回理事会・第3回評議員会案件等 ○法人の窓口、電話対応受付時間について ○災害時の各係の対応について ○人材育成のあり方検討に向けた課題整理について ○各課の主な事業
第11回	2月24日 団体室	○第6回理事会・第3回評議員会案件等 ○令和8年度に向けての職員採用の方向性について ○各課の主な事業
第12回	3月24日	○令和8年度第1回理事会・定時評議員会案件等

	団体室	○メンター相談の振り返りについて ○東京都社会福祉協議会職員連絡会運営委員の選出について ○処遇改善緊急支援事業の取り扱いについて ○福祉まつり及び小地域交流事業の担当について ○職員の服装について ○各課の主な事業
--	-----	---

番号	事業名	財源			
(10)	社協運営会議	自主	補助	委託	事業

結果の概要

- 組織運営、事業運営等をスムーズに運ぶために、管理職及び係長職（相当職を含む）を構成メンバーとし、法人全体として経営会議、管理職会議の報告と各係からの報告と提案を行なうために、毎月1回開催した。
- 危機管理委員会としても位置付け、苦情、要望、事故、ヒヤリ・ハット事例の共有を図った。
- 令和7年度もZoomを活用し、移動時間を要することなく参加が可能となり効率化を図った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月8日 視聴覚室・Zoom	○法人内の障害者雇用について ○地域福祉コーディネーター及び地域支え合い推進員の令和7年度の取組について ○令和7年度全体事業について ○危機管理委員会
第2回	5月13日 視聴覚室・Zoom	○人事考課制度の見直しについて ○令和6年度決算監査について ○災害時の安否確認の方法について ○危機管理委員会
第3回	6月4日 203会議室・Zoom	○熱中症対策の強化について ○ちょうふ災害福祉ネットワークについて ○人事考課制度について ○危機管理委員会
第4回	7月8日 視聴覚室・Zoom	○OBメンター相談事業について ○多摩川病院との連携について ○勤務時間の短縮について ○法人サーバーのトラブルについて ○業務効率化について ○危機管理委員会
第5回	8月5日 視聴覚室・Zoom	○階層別 SST 研修の実施について ○生成 AI ツール利用に関するリスク対策について ○危機管理委員会
第6回	9月2日	○育児介護休業法改正に伴う改正内容について

	視聴覚室・Zoom	○生成 AI ツール利用のルールについて
第7回	10月7日 視聴覚室・Zoom	○令和8年度調布市への予算要求の進捗について ○変形労働と週休日について ○正規職員の応募要件について ○危機管理委員会
第8回	11月5日 ボランティア活動室・Zoom	○総合福祉センター移転に向けたプロジェクトチームの設置について ○危機管理委員会
第9回	12月2日 視聴覚室・Zoom	○電話相談事業の終了について ○会長退任に伴う今後のスケジュールについて ○危機管理委員会
第10回	1月6日 視聴覚室・Zoom	○小地域交流事業の分掌事務の移管について ○セブン-イレブン・ジャパン、調布市とのフードドライブ実施に関する協定について ○新しい総合福祉センターについて ○危機管理委員会
第11回	2月3日 視聴覚室・Zoom	○生成 AI の活用について ○職員採用の方法について ○総合福祉センター移転業務マネジメント等のアウトソーシングについて ○職員育成の困りごとや悩みについて ○危機管理委員会
第12回	3月3日 視聴覚室・Zoom	○ちょビット協力金の報告について ○令和8年度4月から導入される交通反則通告制度について ○危機管理委員会

番号	事業名	財源			
(11)	課内・係内会議	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○各課・各係において会議を開催した。

番号	事業名	財源			
(12)	危機管理委員会	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○運営会議において、危機管理委員会を設置し、苦情、要望、事故報告、ヒヤリ・ハット報告により共有を図り、事故の未然防止とサービスの安全と質の向上を図った（P12 参照）。

番号	事業名	財源			
(13)	衛生委員会	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

- 衛生管理者、職員の代表者及び産業医が参画した衛生委員会を月1回開催し、調布社協内各職場における安全・衛生について、協議、検討を行った。定例報告では、健康診断・ストレスチェック、労働災害の発生状況、長時間労働者の人数と産業医面談の実施状況、休職者の報告、健康相談・健康体操の報告を行った。
- 法人全体のストレスチェック結果について、委員会で共有した。優先して改善すべき項目について、工夫していることや課題と感じていることについて話し合う機会となった。
- 職場巡視を実施することで、各拠点の環境状況の把握、整備をした。
- 産業医から最新の感染症に関する情報提供を得て、法人内の感染症予防対策へ生かした。
- 保健師による食事と健康に関する研修、普通救命講習、自転車講習会を実施した。
- 議題のない回では、衛生講話の動画を視聴することで学び、意見交換した。

実績等

回	開催日	会場	内 容
第1回	4月21日	総合福祉センター 2階 団体室	○令和7年度衛生委員自己紹介 ○衛生委員会の位置づけの確認 ○令和7年度活動計画について ○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告
第2回	5月19日	総合福祉センター 2階 団体室	○第1回職場巡視について ○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告
第3回	6月16日	総合福祉センター 203 会議室	○第1回職場巡視について ○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告
第1回 職場巡 視	A チーム 7月15日	A チーム 富士見コーナー、調 布市希望の家、希望 の家深大寺	○衛生委員が実施 ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検、災害対策確認等
	B チーム 7月10日	B チーム 調布市希望の家(分 場)、緑ヶ丘コーナー	
	C チーム 6月27日	C チーム 西部コーナー、染地	

	Dチーム 6月12日	コーナー、こころの 健康支援センター Dチーム 菊野台コーナー、市 民活動支援センター	
第4回	7月28日	総合福祉センター 2階 団体室	○第1回職場巡視報告 ○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告
第5回	8月18日	総合福祉センター 2階 201会議室	○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告 ○衛生講話「夏の災害で命を守る防災アイテム」
第6回	9月29日	総合福祉センター 2階 団体室	○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告 ○衛生講話「睡眠と光」
第7回	10月20日	総合福祉センター 2階 団体室	○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告 ○「食事と健康に関する研修」の内容について
第8回	11月20日	総合福祉センター 2階 団体室	○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告 ○衛生講話「歯磨きと健康」
第9回	12月15日	総合福祉センター 2階 団体室	○「個々の生活と仕事の調和を推進する対策」について、各課で工夫していること、推進していく上での課題について ○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告
第10回	1月19日	総合福祉センター 2階 団体室	○ストレスチェックの全体結果について ○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告
第11回	2月16日	総合福祉センター 2階 団体室	○自転車交通安全講習会について ○定例報告 ○産業医からの情報提供 ○各職場からの報告
第12回	3月16日	総合福祉センター 2階 201～202会議室	○自転車交通安全講習会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(14)	ストレスチェックの実施		市		

結果の概要

- 社会福祉法人調布市社会福祉協議会ストレスチェック制度実施要綱に基づき、ストレスについての気づきの促し及び職場環境の改善のために、ストレスチェックを実施した。
- 令和7年4月1日在籍者で週20時間以上勤務する職員165人に対し、WEB上で回答できる検査を実施した。
- 結果の分析、集計及び報告については、ストレスチェック業務を取り扱う専門業者に外部委託した。
- 個人結果について回答者個別に報告書を配付するとともに、法人全体及び部署別（課ごと）の集団分析を行った。
- ストレスチェックの結果について、衛生委員会で法人全体結果を共有するとともに、「心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書」を労働基準監督署に提出した。

実績等

- 対象者数165人に対し調査票を配付した結果、114人から回答があった。
- WEB受検を導入して2年目となるが、回答率は前年比+1.6%だった。
- 高ストレス判定が出た職員に対して実施事務従事者から産業医または保健師による面接指導を案内した。産業医面談希望の申し出はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(15)	セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員会				

結果の概要

- 令和7年度に対象案件等がなく、開催はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(16)	個人情報保護・情報公開審査会				

結果の概要

- 情報公開規程第18条に基づく業務情報非公開決定に関する異議申出を受理し、3月13日に個人情報保護・情報公開審査会を開催し、申出内容に関する審査を行った。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(17)	税理士による経理の月例チェック		市		

結果の概要

- 月1回実施した。
- 税理士の指摘事項については、法人全体で共有するとともに、会計職員を中心に改善に努めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(18)	社会保険労務士の指導		市		

結果の概要

○必要に応じて、指導を受けた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(19)	人事評価（旧人事考課）	基			

結果の概要

- 本格実施開始からの2年を振り返るため、職員にアンケートを実施した。その結果、評価方法や賞与への反映を伴う考課制度は、法人や職員の業務の性質上馴染まず、職員の納得感が得られにくい仕組みになっていることが把握できた。
- アンケートの結果も踏まえて、令和7年度からは賞与への反映の廃止し、人材育成を重視する「人事評価制度」に改正をした。
- 一次評価者と年度の目標を確認し設定する期初面談、本人と評価者での振り返りとフィードバックを行う期末面談を実施した。
- 昇任や人事異動の決定に評価結果を反映できるよう、期末面談や評価者会議のスケジュールを見直した。
- 嘱託職員に対しては、自己申告制度に基づく「目標成果シート」「業務レベルチェック」の提出及び期初・期末の面談を実施し、計画的な業務の遂行や明確な目的意識の醸成を図った。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(20)	職員の資質向上（職員研修）（重点項目）	基	市	市 東社	○

※財源は実施事業により異なる

<新任研修の実施>

- 社会福祉協議会職員としての基礎知識及び基本姿勢の習得を目的に、経験職を講師として、社会福祉協議会の理念や事業内容、職員の倫理、マナー等を行い、組織概要の理解と働くうえでの心がまえや地域資源の理解をすすめた。

<全体研修の実施>

- 正規職員を対象とした階層別研修を実施した。キャリアパスに応じたコミュニケーションスキルの獲得を目指した内容とし、SST普及協会の認定講師を招き、SSTを用いて実施した。コミュニケーションスキルの向上だけではなく、部署を超えた横のつながりができ、お互いの業務内容を知ることにより連携が取れる関係性を構築することができた。
- 普通救命講習を最終受講日から期間が経過している職員を主な対象として実施した。定期的な受講を望む意見が多いため、今後も継続して実施していく。
- 自転車交通安全講習会は衛生委員会が企画し、実施をした。

＜外部研修への参加＞

○ポスト、勤務年数に応じた役割自覚と職務能力向上を目的に、全社協、東社協が行う階層別研修等に
参加した。

○担当事業の専門性を高めるため必要に応じて外部研修に年間を通じて参加した。

実績等

＜新任研修＞

対 象	月 日	内 容	参加人数
4月採用 正規職員	4月1日 4月2日 4月3日 4月4日 4月7日 4月8日 4月9日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用、組織理念、調布社協の歴史、働く姿勢、予算・会計、文書事務、事業概要、施設見学 調布市新任研修	4月採用 2人 調布市 新任研 修：令和 6年8月 採用1人
4月採用 嘱託職員	4月1日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用	2人
4月昇任 係長職員	4月21日	係長としての役割、人事考課制度、労務管理、予算管理、ハラスメント	1人
6月採用 嘱託職員	6月1日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用	1人
7月採用 正規職員	7月1日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用、組織理念、調布社協の歴史、働く姿勢、予算・会計、文書事務、事業概要	2人
7月採用 嘱託職員	7月1日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用	2人
10月採用 嘱託職員	10月1日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用	2人
1月採用 正規職員	1月5日	労務、服務、勤怠、パソコンの使用、組織理念、調布社協の歴史、働く姿勢、予算・会計、文書事務、事業概要	1人

＜全体研修＞

研修名	月 日	講 師	内 容	参加人数
階層別 SST 研修	①10月16日 ②10月23日 ③1月16日 ④1月29日 ⑤2月12日 ⑥2月26日	SST 普及協会 認定講師 清水有香氏	SST を用いたキャリアパスに応じた業務上のコミュニケーションスキルの獲得。 ①③主事職経験年数3年以上または経験年数2年以上で28歳以上の主事職 ②④主任職経験年数3年以上かつ34歳以上の主任職 ⑤係長職経験年数5年未満	①5人 ②4人 ③10人 ④5人 ⑤8人 ⑥7人

			の係長職 ⑥主任職経験年数3年未満 または34歳未満の主任職	
普通救命講習 (AED 従事者)	11月6日 1月19日 2月4日	(公財)東京防災救急協会 調布消防署	普通救命 (AED 従事者) 講習 2時間	42人
食事と健康に 関する研修	1月30日	保健師 伊藤恵氏	「健康的なランチの選び方 と良質な睡眠のとり方」をテ ーマに、働き続けられる健康 的な身体をつくるために昼 食の選び方や良質な睡眠を とるための準備について学 ぶ。	16人
自転車交通安 全講習会	3月16日	調布警察署 交通総務係	業務や通勤で自転車を運転 する職員に対し、運転する際 の注意喚起や交通反則通告 制度について学ぶ。	19人

<外部研修への参加>

研修名	主催	参加者
新人事務局長研修	東京都社会福祉協議会	課長1人
区市町村社協職員 新任職員研修	東京都社会福祉協議会	主事3人
地域福祉コーディネーター養成研修<基 礎編>	東京都社会福祉協議会	主事9人 嘱託1人
都内区市町村社協基礎研修	東京都社会福祉協議会	係長1人 主任2人 主事3人
区市町村社協運営管理研修「決算事務に ついて」	東京都社会福祉協議会	係長1人 主任1人
区市町村社協地域福祉所管課長・係長会	東京都社会福祉協議会	係長1人
区市町村社協4～6年目職員フォローアッ プ研修	東京都社会福祉協議会	主任1人 主事1人
管理職員研修	東京都福祉人材センター	課長補佐1人
OJT・仕事の教え方研修	東京都福祉人材センター	主任1人 主事2人
チームリーダー研修	東京都福祉人材センター	主任3人
リーダーシップ研修	東京都福祉人材センター	主任7人
労働基準法等に関する研修	東京都福祉人材センター	課長2人 課長補佐1人 係長1人
コーチング研修【配信】	東京都福祉人材センター	主任2人 主事1人

スタートアップ研修【配信】	東京都福祉人材センター	嘱託職員 3 人
接遇・マナー研修【配信】	東京都福祉人材センター	主任 1 人 主事 1 人 嘱託職員 2 人
採用力・広報力研修	東京都福祉人材センター	係長 1 人
育成面談研修	東京都福祉人材センター	課長 1 人 係長 1 人
アサーティブコミュニケーション研修	東京都福祉人材センター	課長 1 人 係長 3 人 主任 3 人 主事 4 人 嘱託職員 25 人
福祉職場で生かすアンガーマネジメント【配信】	東京都福祉人材センター	主任 2 人 主事 7 人 嘱託職員 1 人
福祉職のためのメンタルヘルス【配信】	東京都福祉人材センター	係長 6 人 主任 6 人 主事 15 人 嘱託職員 16 人
管理職のためのメンタルヘルス【配信】	東京都福祉人材センター	課長 1 人 課長補佐 1 人
苦情解決担当者研修【配信】	東京都福祉人材センター	課長 1 人 係長 2 人
ハラスメント防止研修	東京都福祉人材センター	係長 1 人
社会福祉法人会計入門研修【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人
財務マネジメント初級研修【配信】	東京都福祉人材センター	主任 1 人
財務マネジメント中級研修【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人 主任 1 人
高齢知的障害者の認知症とその支援【配信】	東京都福祉人材センター	係長 1 人 主任 2 人 主事 1 人 嘱託職員 4 人
直接介助におけるリスクマネジメント研修【配信】	東京都福祉人材センター	主事 1 人
介護職員スキルアップ研修(医療的知識編)【配信】	東京都福祉人材センター	嘱託職員 1 人
社会福祉協議会活動全国会議	全国社会福祉協議会	係長 2 人 主任 1 人
関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	第60回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会実行委員会 群馬県社会福祉協議会 関東ブロック社協職員の会連絡会	主任 1 人
社会福祉事業従事者人権研修【I】	東京都福祉局	係長 1 人

		主任 5 人 嘱託職員 2 人
社会福祉事業従事者人権研修【Ⅱ】	東京都福祉局	主事 1 人
市内社会福祉法人対象研修「内部けん制体制・社会福祉法人の直面する経営課題」	調布市福祉総務課	係長 1 人 主任 1 人
災害時外国人支援 基礎研修	東京都つながり創生財団	課長 1 人 主事 1 人
その他担当事業別研修参加	全社協、東社協ほか 民間も含め各所	

分析・課題

- 令和7年度も福祉人材育成センターと連携し、研修に参加することで職員の意識だけでなく業務の質を高めた。
- 外部研修の動画配信型の研修は、会場への移動時間を考慮せず期間内であれば日時を問わずに視聴できるため、多くの職員から参加希望があった。
内部研修については、階層別研修・SST研修は法人として初めて実施した。スーパーバイザーを交えた研修や採用後1・2年目の職員を対象としたフォローアップ研修は令和8年度への課題としたい。
- より良いサービス、支援の提供ができるように職員個々の資質の向上、組織力の強化及び必要な資格の取得ができるように、日常業務との兼ね合いを図りながら、今後も限られた研修費のなかで、効率的な研修の実施及び参加を進めたい。
- 各事業において受講が必須の研修についての把握や、今後の事業運営を見据えた研修受講者の選任方法を早急に検討する必要がある。
- 研修終了後の内容の共有の方法や学んだことを活かせるような仕組みを考えたい。

番号	事業名	財源			
(21)	職員健康相談	自主	補助	委託	事業
			市		

結果の概要

- 定期的、継続的な相談や体操により職員の心身の健康状態の変化に気づく機会となった。
- 同日開催している健康体操については、衛生委員会にて令和4年度に実施したアンケート結果をもとに、テーマを設定し実施した。テーマに興味のある職員が多数参加している。

分析・課題

- メンタル疾患者の増加、ストレスチェックの義務化に伴い、社協組織においてメンタルヘルス対策は大きな課題となっている。そのため、産業医や健康相談員の存在も大きく、職員が安心して相談できる体制を維持・強化する必要がある。
- 健康体操を実施する中で、デスクワークが多い職員は肩こりや腰痛、目の疲れ等を自覚していることが多いことがわかった。上記のアンケート結果からもそれらの不調を改善する体操を希望する声が多いため、希望が多いテーマを多く取り上げるようにした。

番号	事業名	財源			
(22)	メンター相談	自主	補助	委託	事業
		他			

結果の概要

- メンタル不調を訴える職員や、早期離職する職員が以前に比べて増えていることもあり、「安心して働ける職場づくり」の一環として、8月より開始した。
- 元調布社協管理職員に依頼し、月に2回相談日を設定。1回1時間以内とし、申込制で行った。
- 働き方や職場での不安や悩みのほか、具体的な業務に関する助言を求めたり、経緯を教わりたいという希望もあった。
- 申し込みがない日もあり、8か月で11回開催し、利用者は19人（延べ26人）だった。

分析・課題

- 相談を利用するタイミングとして、自分の中で整理してからではなく、もっと前の段階、もやもやしている状態で利用してもいいのではないか、とメンターからフィードバックを受けた。
- 個別の相談内容について報告は受けないが、職場内コミュニケーションの必要性など、年度末にメンターから法人に対してのアドバイスもあった。
- 上半期監査において、監事より、利用は申込制だけでなく、「新任職員は入職後〇ヶ月後に受ける」「全職員が1度は利用する」といった運用をしても良いのではないか、との意見をいただいた。

2 部会・委員会

番号	事業名	財源			
(1)	総務部会	自主 基	補助	委託	事業

結果の概要

- 令和7年度は、年3回開催した。
- ちょビット協力金を中心に、その他の募金活動や寄附金、募金箱、収益事業等、自主財源の確保について議論を重ねた。そのほか社協の魅力を伝える方法として、4コマ漫画によるPRなどのアイデアを出し合い、検討した。
- ちょビット協力金について、7月の強化月間ではSNSにてXを活用し、随時情報を発信した。また、福祉まつりでちょビット協力金の案内文にQRコードを示したポケットティッシュを配布した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月24日 団体室	○令和6年度自主財源報告 ○令和6年度ちょビット協力金実績報告 ○令和7年度社会福祉協議会ちょビット協力金募集方法（チラシ・ポスター及びその他周知方法）について
第2回	9月18日 団体室	○自主財源の現況報告 ○令和7年度ちょビット協力金の現況報告 ○下半期のちょビット協力金の取組について協議・検討
第3回	2月3日 団体室	○自主財源の現況報告 ○令和7年度ちょビット協力金の現況報告 ○令和8年度に向けたちょビット協力金の周知について

分析・課題

○令和7年度も自治会の解散などみられたが、ちょビット協力金は目標額を超える実績となった。地域福祉活動の推進や制度の狭間の地域生活課題に対応していくためにも、今後も自主財源の確保を進めていく必要がある。また、募金等の使いみちについて丁寧でわかりやすい情報発信に努めるとともに、新たな資金調達の方法についても検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(2)	広報部会				

結果の概要

○令和7年度は、年6回開催した。
○市民モニターや各委員の意見を踏まえ、デザインや写真の掲載などふくしの窓がわかりやすい紙面となるよう工夫した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月27日 201会議室	○ふくしの窓5月10日号振り返り ○ふくしの窓7月号2校確認 ○その他広報活動について
第2回	7月29日 団体室	○ふくしの窓7月10日号振り返り ○ふくしの窓9月号2校確認 ○その他広報活動について
第3回	9月29日 団体室	○ふくしの窓9月10日号振り返り ○ふくしの窓11月号2校確認 ○その他広報活動について
第4回	11月27日 団体室	○ふくしの窓11月10日号振り返り ○ふくしの窓1月号2校確認 ○その他広報活動について
第5回	1月26日 201会議室	○ふくしの窓1月10日号振り返り ○ふくしの窓3月号2校確認 ○その他広報活動について
第6回	3月30日 団体室	○ふくしの窓3月10日号振り返り ○ふくしの窓5月号2校確認 ○その他広報活動について

分析・課題

○ふくしの窓については、今後もカラー構成や写真の効果的な見せ方など、市民の方が手に取った際に、見やすくわかりやすい紙面になるようさらに工夫していく必要がある。
○社協や事業をPRしていくため、YouTubeの他にXを活用した。福祉まつりの開催広報などタイムリーに情報発信を行った。今後も、様々な媒体を利用した情報発信の方法など検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市希望の家及び希望の家深大寺運営委員会			市	

結果の概要

- 年3回の実施計画とおり、5月と10月と2月の3回実施した。
- 各委員より様々な視点で意見をいただき、運営に反映することができた。
- P203、P213 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	市民活動支援センター運営委員会			市	

結果の概要

- 事業計画に基づき、計8回の運営委員会を開催した。
- 市民主体の開かれた運営を基本とし、さらなる充実を目指した。
- P150 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	調布市こころの健康支援センター運営委員会			市	

結果の概要

- 令和7年度は年3回実施した。
- 市民主体の開かれた運営を基本とし、さらなる充実を目指した。
- P250 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	共同募金調布地区配分推薦委員会	他			

結果の概要

- 地域における共同募金の配分について、地域の福祉ニーズを反映させることを目的として、東京都共同募金会（以下「都共募」という。）の配分委員会に対する意見具申を行った。令和7年度は20団体の推薦を行い、合わせて申請受付、推薦基準、評価基準についても話し合った。

実績等

回	開催日	会場	内 容
第1回	6月16日	201会議室	○令和6年度地域配分（B配分）申請・配分団体について ○令和7年度地域配分（B配分）募集要領及び申請書類について ○令和7年度配分可能総額について

			○令和7年度地域配分（B配分）確認事項について ○令和7年度地域配分（B配分）広報活動について ○令和7年度配分推薦委員会の予定
第2回	11月6日	団体室	○審査方法説明 ○申請内容確認 ○今後の配分推薦委員会の予定
第3回	1月15日	団体室	○地域配分申請事業審査 ○令和8年度末たすけあい配分計画について ○令和8年度配分ルールの確認等について

分析・課題

- 受配団体に街頭募金の実施協力や募金箱の設置など共同募金運動に協力してもらえるよう、引き続き働きかけを行っていく。
- 募金額の減少に伴う助成決定額の減額方法については、委員会で一定のルールについて協議し決定した。
- 配分推薦委員会では、推薦団体の事業実施の必要性等について、活発な意見交換がされた。
- 令和7年度事業実施において、行先・日程及び使途の変更希望があった受配団体については、都共募に確認をとりながら、変更届の提出を依頼した。令和8年度も当初予定した申請事業が物価高騰や想定外の事情により、申請事業の変更が見込まれるため変更の確認、申請団体に事業が滞りなく実施されるよう周知する必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	あんしん未来支援事業審査会		市		

結果の概要

- 事業を適正、かつ円滑に実施するため、利用契約に係る承認審査のほか、事業の実施状況に関する報告、事業運営に係る意見具申を行った。

P145 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	調布市福祉人材育成センター運営委員会			市	

結果の概要

- 令和7年度は、年4回開催した。
- 集合形式の会議を実施しながら、事業の適切な運営、実施について協議した。

P261 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	子ども・若者総合支援事業運営委員会			市	

結果の概要

○運営委員会（学識経験者、教育・福祉関係者等）を3回開催した。事業の進捗状況を報告し、委員の方より意見及び助言をいただいた。

第1部のP131参照

3 財政基盤

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	会費の拡大	会			

結果の概要

○自治会、民生児童委員、個人、団体等のご協力により、6,105,111円の会費及び協力金をいただき、ひだまりサロン事業等の事業に活用した。

○「ちょビット協力金」という愛称でホームページ、チラシ、ポスター、ポケットティッシュ、X等で周知を行い、市民に定着してきている。

○例年どおりふくしの窓7月号に特集記事を掲載し払込取扱票を添付した結果、令和6年度に比べ、件数は6件減少したが、金額は268,667円上回った。

○オンライン決済フォームから51件、195,979円の納入があった。令和6年度に比べて件数は7件増加し、金額は45,246円増加した。

○令和7年度個人の協力数、金額の増加もあり、600万円の目標額を超える協力金の実績額となった。

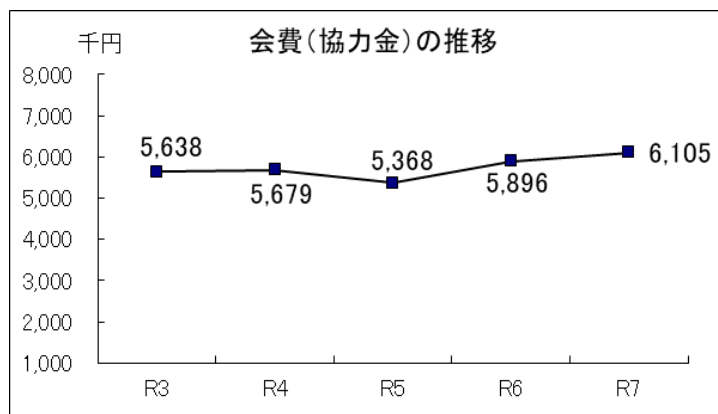
○会員募集運動に協力いただいた自治会が取りまとめた会費実績の9%を、申請に基づき地域福祉活動費として交付した。

No.	事業名	No.	事業名
1	会員管理	4	小地域交流事業
2	地域福祉活動計画	5	ボランティア活動推進
3	ひだまりサロン		

実績等

会員種別	会員数 (人・団体)	会費額 (円)
賛助会員 (個人)	3,002	4,069,638
賛助会員 (団体)	141	1,550,434
協力会員 (個人)	1,585	409,659
会費合計	4,762	6,105,111

取り扱い別	件数 (件)	会費額 (円)
自治会	149	3,947,402
民生児童委員	54	183,700
法人・団体	79	626,500
個人	240	1,149,416
社協役職員	104	198,093
合計	626	6,105,111



年度	会費(協力金)総額
令和3年度	5,638,483円
令和4年度	5,678,953円
令和5年度	5,367,695円
令和6年度	5,896,161円
令和7年度	6,105,111円

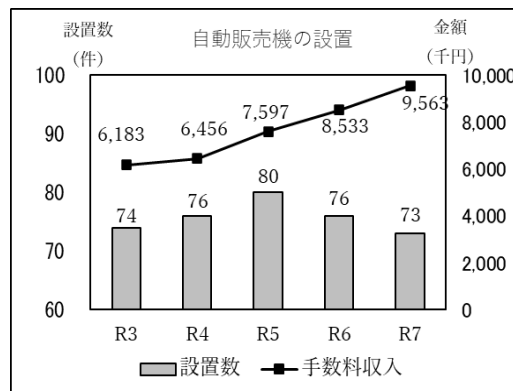
分析・課題

- 令和6年度と比べると総合計の件数は126件増加し、募金額も208,950円増額した。取り扱い別の会費額でみると、民生児童委員、法人・団体、個人からの協力が増加した結果である。
- 自治会に対しては、令和6年度の協力実績のない自治会にご案内を行った。法人・団体には、年2回のご案内を行った。またFM調布やふくしの窓、チラシ、ポスター、ポケットティッシュ配布、SNSのXを活用しての周知を行った。チラシ・ポスター掲示先について、令和6年度同様市内のスポーツ施設でもチラシ・ポスター掲示の依頼を行い、多くの市民の方がみていただけるよう広報の工夫を行った。
- 令和7年度に新たに、府中・調布・狛江の3市に事業拠点を置く企業など約3,500社によって構成される武蔵府中法人会の会報に、ちょビット協力金募集の記事を掲載してもらい、法人へ広くPRすることができた。
- オンライン受付(シンカブル)では、新規で個人の方や自治会からも入金があった。曜日や時間帯を選ばず、インターネット上で完結する手軽さがあるため、今後もSNS、ホームページ、各種広報誌等に2次元コードを掲載するなど、更なる周知を図っていく。
- ふくしの窓7月号に貼付した払込用紙による協力が年間を通じてあった。主に個人や法人・団体の方からの協力に使用されているため、今後も一人でも多くの方に協力いただけるよう、わかりやすい紙面とともに協力を呼び掛けていく必要がある。
- ちょビット協力金の愛称は浸透してきているが、更に理解を深め、協力者を増やしていくため、ちらし、ポスター等わかりやすく事業を紹介するなど、広報の工夫が必要である。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	収益事業	収			

結果の概要

- 地域福祉推進の財源を確保するため、市内の公共施設等に自動販売機を設置、運営した。
- 新規設置、手数料率の見直しおよび猛暑酷暑や物価高騰の影響による販売価格の上昇などもあり、実績は伸びている。
- 10月より2か所にてキャラクター等の付加価値のついた高単価のラベル缶導入を実施した。
- 設置場所の精査・開拓を実施し、売り上げが見込めない5台を撤去、売り上げの見込みがある場所への設置(2台)



や移動も行った。

○総合福祉センター内の自動販売機については、ボランティア団体の協力を得て、販売商品を説明する点字をつけ、視覚障がい者の方も購入しやすいようにしている。

実績等

自動販売機設置場所	台数	自動販売機設置場所	台数
調布市役所	4台	西調布体育館	1台
調布市グリーンホール	3台	西町公園	1台
関東村跡地	8台	調布市こころの健康支援センター	2台
緑ヶ丘テニスコート	1台	つつじヶ丘児童館	1台
深大寺テニスコート	1台	西部地域福祉センター	1台
多摩川テニスコート	1台	入間地域福祉センター	1台
西町少年野球場	1台	調布ヶ丘地域福祉センター	1台
調布市西部公民館	1台	深大寺地域福祉センター	1台
調布市北部公民館	1台	染地地域福祉センター	2台
調布市教育会館	1台	菊野台地域福祉センター	1台
調布駅北口入口横	3台	下石原地域福祉センター	1台
大町スポーツ施設	1台	金子地域福祉センター	1台
飛田給駅北自転車駐車場	1台	多摩川五丁目児童遊園	1台
調布中前児童遊園	2台	下布田公園	1台
調布市総合福祉センター	7台	調布市調布西第3自転車駐車場	2台
八雲台ふれあいの家	2台	東京都パラスポーツトレーニングセンター	1台
調布市文化会館たづくり	2台	多摩川市民広場	3台
多摩川緑地公園	3台	下石原市営住宅	1台
調布市シルバー人材センター	1台	小島町倉庫	1台
国領駅前ココスクエア駐車場	3台	農業公園	1台
調布福祉作業所	1台	合 計	73台

分析・課題

- 販売数を多く見込める設置場所を開拓し、自主財源の確保に努めていきたい。
- 災害ベンダーの設置の促進等により、地域貢献につながる取組を推進する。
- 状況、ニーズに応じて、設置する機器を検討しながら増設を目指す。
- 低販売の設置場所については、業者からの提案もいただきながら継続できるよう努めていく。
- 自販機の設置、自販機による清涼飲料水を購入いただくため、引き続き周知をしていく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	広告料収入				○

結果の概要

- 「ふくしの窓」への広告掲載として、1回の発行につき最大10コマ・年間6回の広告掲載スペースを確保し、市内企業等に1コマ20,000円の広告を掲載していただいた。

実績等

○企業・団体から計 50 コマに広告掲載の申込をいただき、1,000,000 円の収入があった。

分析・課題

○令和 6 年度同様に安定した収入の確保ができた。引き続き市内企業や地域の商店街等に社協 PR もこめて、地域貢献の一環として広告掲載について積極的に依頼し、新規広告掲載に努めていく。

番号	事業名	財源			
(4)	研修生受け入れ収入	自主	補助	委託	事業
		他			

結果の概要

○将来、福祉職や看護職、教職を目指す人材の支援・育成を目的に受入れを行っている。

実績等

	学校・企業数	収 入
大学・短大・専門学校	14 校	722,000 円

※学校・人数については、研修生受入収入が発生するもののみカウントしている。

番号	事業名	財源			
(5)	募金箱の設置	自主	補助	委託	事業
		寄			

結果の概要

○令和 6 年度に比べ、寄付金額は 97,451 円増額となった。

実績等

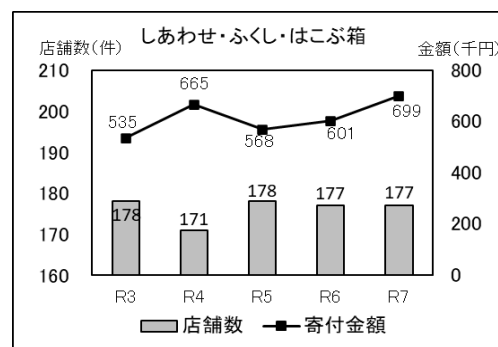
福祉募金箱設置協力店数	177 店
寄付金額	698,862 円

分析・課題

○より多くの協力を得られるよう、ポスター掲示等により募金がどのように活用されているかを明確にし、またシンカブル対応の QR コードを募金箱に貼るなどの工夫が必要である。

○社協の宣伝も踏まえ、募金箱設置店にふくしの窓や社協のしおり等の広報物、会員募集のリーフレットの配架を依頼する等、積極的な普及活動を行っていく。

○地域福祉コーディネーター、地域支え合い推進員をはじめ、募金箱設置店のある地域を活動領域とする他の事業担当者と連携し定期的に設置店を訪問することにより、より深い地域とのつながりづくりを図る。



番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	寄付金収入	寄			

※決算額は福祉募金箱を含む寄付金収入の額

結果の概要

○市民、市内団体をはじめ多くの方から、福祉への思いを寄付という形でお寄せいただいた。

実績等

＜寄付金額（福祉募金箱、福祉まつり募金箱含）＞

件数	寄付金額
寄付金 334 件	16,140,659 円

分析・課題

○遺贈寄付、香典返しの際の寄付等に関する問い合わせがコンスタントにある。寄付先として選択してもらえるよう積極的に周知を図りたい。

○自治会の解散に伴う寄付が増えている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	障害者総合支援法に基づく自立支援給付費収入				○

結果の概要

○障害者総合支援法の指定事業所として、指定相談支援事業、同行援護事業及び生活介護事業を行った。

実績等

事業名	令和7年度収入
指定相談支援事業（ドルチェ）	4,187,375 円
指定相談支援事業（こころの健康支援センター）	19,538,176 円
同行援護事業	15,404,761 円
生活介護事業所（希望の家深大寺）	75,188,576 円
合 計	114,318,888 円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	赤い羽根共同募金会からの収入				
(9)	歳末たすけあい運動からの収入	共歳			

結果の概要

○社会福祉法人調布市社会福祉協議会として東京都共同募金会へ地域配分（B 配分）を申請し、1,250,000 円の配分を受けた。また、令和6年度に歳末たすけあい運動で寄せられた募金（5,119,916 円）を地域福祉活動費として、東京都共同募金会から収受し、相談・情報提供事業や高齢者会食サービスなどに活用した。

番号	事業名	財源			
(10)	補助金収入	自主	補助	委託	事業
(11)	受託金収入		○	○	

結果の概要

○調布市からの補助金並びに東京都社会福祉協議会及び調布市からの委託金を次の事業実施のため収入した。

① 調布市補助金

No.	事業名	No.	事業名
1	法人運営費	11	手話講習会
2	ひだまりサロン	12	手話通訳者派遣（幹旋通訳）
3	高齢者会食サービス	13	中途失聴・難聴者のための手話講習会
4	高齢者訪問理美容サービス	14	ファシリテーター養成講座
5	電話訪問	15	福祉団体助成金
6	友愛訪問	16	ボランティア活動推進
7	福祉機器貸出	17	希望の家深大寺
8	健康支援金の支給	18	調布市障害者日中活動系サービス推進事業
9	あんしん未来支援事業	19	調布市日中一時支援事業
10	福祉サービス利用援助	20	福祉人材育成事業

②調布市受託金

No.	事業名	No.	事業名
1	通所介護及び介護予防通所介護	14	市民活動支援センター
2	ふれあい給食	15	調布市こころの健康支援センター
3	老人クラブ育成	16	障害者就労支援事業
4	障害者相談支援	17	子ども・若者総合支援事業
5	障害者地域活動支援センター	18	生活困窮者自立支援事業
6	在宅障害者（児）緊急一時保護	19	生活困窮者家計改善支援事業
7	地域福祉活動支援事業	20	福祉人材育成センター
8	高次脳機能障害相談支援事業	21	生活支援コーディネーター
9	受験生チャレンジ貸付	22	発達障害者支援
10	放課後等デイサービス事業	23	地域福祉コーディネーター
11	障害者等雇用	24	医療的ケア児等支援技術向上研修事業
12	調布市総合福祉センター運営	25	地域づくり事業
13	調布市希望の家		

③東京都補助金

No.	事業名
1	東京都物価高騰緊急対策支援金
2	東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業

④東京都社会福祉協議会受託金

No.	事業名
1	生活福祉資金貸付（特例貸付含む）
2	地域福祉権利擁護事業
3	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

実績等

○令和7年度の補助金及び受託金は、以下のとおりである。

区 分	金 額
調布市補助金	366,008,340 円
調布市受託金	857,199,947 円
東京都補助金	1,370,490 円
東京都社会福祉協議会受託金	32,236,569 円
合 計	1,256,815,346 円

4 啓発・普及・宣伝事業

(1) 啓発事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)①	調布市福祉大会	会寄基			

結果の概要

○第37回調布市福祉大会を開催し、永年にわたって地域福祉活動やボランティア活動に参加・協力いただいた市民、団体並びに福祉事業に対する高額寄付者を顕彰した。

○ひだまりサロン20周年記念交流会の同時開催で、ひだまりサロン応援スタッフによる進行で紹介動画の上映や記念誌の紹介、会場全体での合唱を行った。また、活動の様子等をホワイエで展示し来場した方に観ていただき、楽しいひと時となった。

○受賞者及び参加者への記念品としてひだまりサロン20周年のロゴ入りエコバッグを配布した。

実績等

開催日時	令和7年10月9日
会 場	調布市文化会館たづくり くすのきホール
参 加 者	311 人
内 容	＜式典＞ 表彰・感謝状対象者：社協 107 人 共同募金 2（人・団体） ひだまりサロン20周年記念交流会

分析・課題

○社協は、数多くの団体、個人の方から協力を得ており、日頃の感謝を直接伝える良い機会となっている。令和7年度も大会をスムーズに進行することができ、現在の方法を継続していく。

○ひだまりサロンの関係者の参加が108人あり、来場者数の増加につながった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)②	調布市福祉まつり				○

結果の概要

＜実施期間＞

令和7年12月6日から令和7年12月7日

調布市福祉まつり実行委員会が運営

福祉まつりの実施に向けて、参加団体から実行委員を募り実行委員会を6月に立ち上げた。

実行委員17人と担当職員で実施内容を検討した。

実行委員長 増田 弘子（調布市社会福祉協議会理事）

副実行委員長 青木 誠（特定医療法人青山会青木病院）

実行委員会開催回数 4回（うち1回は令和8年2月に開催の反省会）

「あいはいここから スマイル」をテーマに広報を展開

・令和6年度に引き続き「あいはいここから」と、「スマイル」をテーマとして掲げた。

(1) 事前チラシ・ポスター

自治会や公共施設、駅、商店、児童関係施設（保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校等）への配布

(2) 調布FMへの出演

(3) 市報、ふくしの窓、タウン誌への掲載

(4) 当日用プログラム

ア 会場図等を掲載

イ ステージプログラム、スタンプラリー・ぬりえ景品、会場機材の協賛企業や協力団体等を掲載

サニーくんのぬりえ企画を実施

・事前チラシの裏面がサニーくんのぬりえ（2種類）になっており、むらさきホールのブースに持参した方には、景品をプレゼントした。

スタンプラリーの実施

・体験コーナーをめぐりスタンプを集めた方に景品をプレゼント。景品は、企業等から協賛をいただいた。

ステージイベントの実施

- ・調布市役所前庭の、平和の塔前にステージを設置した。
- ・ステージ前には椅子を設置。
- ・ステージの音響は、近隣住民への配慮を最優先とし、最低限の音量に設定した。会場全体に音が聞こえるように、ちょうふFMにモニターの設置を依頼した。
- ・司会者については、両日青木副実行委員長が担当した。

調布市交通安全協会の協力

・土曜2人、日曜4人の会員が派遣され協力をいただいた。歩行者、車両の安全確保がスムーズに行えた。

ゴミステーション設置

- ・会場にゴミ箱を設置せずにゴミステーションを設置した。
出店団体からのゴミ（粗大ゴミ除く）も収集したが、大きなトラブル等はなく対応できた。

調布駅前の使用

- ・調布駅を利用する方に対して、当日プログラムや風船の配布を行い市役所前庭へ案内した。

アフラック・たづくり間道路の使用

- ・トヨタモビリティ東京株式会社の協力のもと、福祉車両の展示、乗降体験を実施。

その他

- ・株式会社エクシオテックに協力いただき音声での会場案内を実施。
- ・土日両日で調布市スポーツ協会による「スポーツ体験」を実施。

参加団体一覧

12月6日（土）

- (1) NPO 調布ハンディキャブ
- (2) 調布市自治会連合協議会
- (3) 特定非営利活動法人わかばの会
- (4) NPO 法人羽ばたく会 めじろ作業所
- (5) 特定非営利活動法人だいち
- (6) 特定非営利活動法人ファーストステップ
- (7) 障害者生活訓練事業所 Porta
- (8) 旭出調布福祉作業所
- (9) びいす
- (10) 特定非営利活動法人 ポコポコ・ホッピング
- (11) 社会福祉法人調布を耕す会 しごと場大好き
- (12) NPO 法人にこにこの会
- (13) オレンジデイ SENGAWA 運営委員会
- (14) 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム
- (15) NPO 法人リフレッシュ工房
- (16) 特定非営利活動法人爽々苑
- (17) ちょうふの里高齢者在宅サービスセンター
- (18) 調布ドリーム家族会
- (19) 特定非営利活動法人 高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム
- (20) 社会福祉法人 新の会 はあと・ふる・えりあ
- (21) 社会福祉法人大泉旭出学園 調布福祉園
- (22) 虹の会
- (23) 社会福祉法人新樹会 創造農園
- (24) 調布市希望の家
- (25) 特定非営利活動法人ひなげしの会 ポピーの家
- (26) 調布市社会福祉事業団すまいる
- (27) NPO 法人クッキングハウス会 クッキングハウス
- (28) 特定非営利活動法人ふみ月の会
- (29) 視覚障害者福祉協議会
- (30) 社会福祉法人調布を耕す会 カフェ大好き
- (31) 東京かたばみ会 調布八雲苑
- (32) 公益社団法人調布市スポーツ協会
- (33) さるすべり

- (34) ドルチェ
- (35) 調布市こころの健康支援センター
- (36) 調布市聴覚障害者協会
- (37) 調布ナースの会
- (38) 愛沢さん
- (39) 市民活動支援センター
- (40) (株)創生事業団 カノン調布
- (41) 東京都社会保険労務士会 武蔵野統括支部
- (42) 多摩南部成年後見センター
- (43) 社会福祉法人 桐仁会 ちょうふ花園
- (44) 東京都行政書士会調布支部
- (45) 東京司法書士会調布支部
- (46) 調布ゆうあい福祉公社
- (47) ソウギ SOS
- (48) 介護老人保健施設フロリアル調布

12月7日(日)

- (1) 調布管工土木事協同組合
- (2) NPO 法人調布心身障害児・者親の会
- (3) 調布市社会福祉協議会
- (4) ひだまりサロン
- (5) 東海大学同窓会 東京ブロック三多摩支部会
- (6) 調布市建設業協同組合
- (7) 公益社団法人調布青年会議所
- (8) 明治大学校友会調布狛江地域支部
- (9) ガールスカウト東京都第178団
- (10) フラワーセラピー花想
- (11) 東京調布ライオンズクラブ
- (12) 調布市民生児童委員協議会
- (13) 公益社団法人調布市シルバー人材センター
- (14) 中央大学学生会調布支部
- (15) クローバー
- (16) 早稲田大学校友会調布稲門会
- (17) 調布・狛江地区更生保護女性会
- (18) 東京調布ロータリークラブ
- (19) 調布明るい社会づくりの会
- (20) 国際ソロプチミスト東京-調布
- (21) 調布リトルリーグ野球協会
- (22) 学習院調布・狛江桜友会
- (23) リサイクルショップ不思議屋
- (24) すみれの会
- (25) 公益社団法人調布市スポーツ協会
- (26) さるすべり
- (27) ドルチェ
- (28) 調布市シニアクラブ連合会
- (29) 菊野台点字サークル
- (30) 調布デイジー
- (31) アーリーバード、アーリーバード柴崎
- (32) S O M P O ケア そんぼの家 S 国領

- (33) 調布市茶道連盟
- (34) 調布市高齢者支援室高齢福祉担当
- (35) 調布りんりんの会
- (36) NP0 法人あんしんシニアサポート
- (37) たまふおす（多摩児童相談所フォスタリング機関二葉学園）
- (38) 公益社団法人 調布市医師会
- (39) ちょうふタバコ対策ネットワーク
- (40) NP0 法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 東京支部
- (41) 調布市人権擁護委員
- (42) 調布市行政相談委員
- (43) 調布市立図書館

協賛・協力企業及び団体（敬称略）

アサヒ飲料株式会社 / FC東京 / 小田急バス株式会社 / 株式会社伊藤園 調布支店 / 株式会社榮太樓
 本舗 / 株式会社エクシオテック プロダクト営業部 / 株式会社 KDDI チャレンジド / 株式会社
 サカイ・ヘルスケア / 株式会社八洋 / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 / サントリービ
 バレッジソリューション株式会社 東京支社府中支店 / シダックスオフィスパートナー株式会社 / 東
 京キリンビバレッジサービス株式会社 府中支店 / 東京都十一市競輪事業組合 / 東京ヤクルト販売株
 式会社 調布事業所 / トヨタモビリティ東京株式会社 / リカー&フーズ やまぐち / 他匿名企業、個
 人協賛（50 音順）

実績等

○来場者および収益金

	来場者（推計）	参加団体	収益金
1 日	5,000 人	48 団体	70,000 円 ※47 回 133,932 円
2 日	4,000 人	43 団体	2,045,822 円 ※47 回 1,975,982 円
合計	9,000 人	延べ 91 団体 ※実数 837 団体	2,115,822 円 ※47 回 2,109,914 円

内容

12 月 6 日（土）

出店

内 容	・手づくり品の販売 ・模擬店 ・バザー
会 場	調布市役所前庭

ステージイベント

内 容	参加団体や地域の団体によるステージイベント
会 場	調布市役所前庭（特設ステージ）
出 演 者	あいあい保育園 調布乳幼児園 社会福祉法人 調布を耕す会 しごと場大好き

	調布市こころの健康支援センター合唱部
	スタジオラ・ヴィー ちーむぎやろっぷ
	NP0 法人 羽ばたく会 めじろ作業所
	調布市立第八中学校 ダンス部
	青木病院 認知症疾患医療センター
	NP0 法人クッキングハウス会 クッキングハウス
	NP0 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング富士見町
	高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム

福祉体験コーナー

内 容	さまざまな福祉にふれる体験コーナー
会 場	総合福祉センター2階・3階・4階
体験内容	盲導犬ふれあい体験
	ボランティア活動紹介
	認知症かるた
	バリアフリー卓球
	手話 café
	的当て
	ボッチャ体験

相談・PR コーナー

内 容	各種専門家による相談、PR
会 場	グリーンホール小ホール、たづくりむらさきホール
内 容	介護相談、施設 PR、小物作り
	年金・社会保険・労働保険相談
	PR 活動
	相談 PR もの作り
	相続・遺言・終活相談
	相続・成年後見・登記の無料相談会
	健康チェック、ポストカード作り、折り紙
	葬送・終活相談
	介護相談とゲーム

スタンプラリー

内 容	グリーンホール小ホール、総合福祉センター内で福祉体験をしてスタンプを集めた方に、参加賞をプレゼント。
会 場	グリーンホール小ホール、総合福祉センター
台紙配布場所	グリーンホール小ホール
参 加 者	440 人

ぬりえ

内 容	サニーくんイラストのぬりえコーナー ぬりえを提出すると景品をプレゼント
会 場	たづくりむらさきホール
参 加 者	324 人

福祉車両展示・体験会

内 容	福祉車両展示、乗降体験
会 場	アフラック・たづくり間道路
協 力	トヨタモビリティ東京株式会社

体験会

内 容	スポーツ体験
会 場	グリーンホール小ホール
協 力	調布市スポーツ協会

12月7日(日)

出店

内 容	・バザー ・模擬店 ・手作り品の販売
会 場	調布市役所前庭

ステージイベント

内 容	参加団体や地域の団体によるステージイベント
会 場	調布市役所前庭（特設ステージ）
出演者	ガズレレ東京多摩
	yuu&shoken(ユウ&ショウケン)
	S H C フラカイヤニアークア
	相磯菜々

	ひめ
	調和SHC倶楽部 ダブルタッチ教室
	調布市シニアクラブ連合会
	調布市民合唱団
	SHC倶楽部 チーム調和 (調和SHC倶楽部よさこいサークル)
	福祉まつりテーマ曲「あいはこちらから」

福祉体験コーナー

内 容	さまざまな福祉にふれる体験コーナー
会 場	総合福祉センター2階・3階・4階
体験内容	点字体験
	デイジー図書体験&クイズチャレンジ
	バリアフリー卓球
	どんぐりトトロ作り
	昔あそび
	ボッチャ体験

相談コーナー

内 容	専門家による相談、PR
会 場	グリーンホール小ホール、たづくりむらさきホール
内 容	健康測定、見守りネットワーク事業のPR活動等
	もしバナカードを使い将来の心づもりについてふれよう
	終活相談/認知症簡易テスト(粗品贈呈)
	資料配布・輪投げ(無料)
	タバコクイズ・健康相談
	お金に関するクイズやゲーム、希望者向けの相談会(ちょこっと相談)
	人権擁護委員の活動PR、啓発物品の配布
	行政相談PR
	布の絵本・大活字本・DAISY図書・マルチメディアデイジー図書・宅配サービスなどの紹介

スタンプラリー

内 容	グリーンホール小ホール、総合福祉センター内で福祉体験をしてスタンプを集めた方に、参加賞をプレゼント。
会 場	総合福祉センター

台紙配布場所	グリーンホール小ホール
参加者	380人

ぬりえ

内 容	サニーくんイラストのぬりえコーナー ぬりえを提出すると景品をプレゼント
会 場	たづくりむらさきホール
参加者	316人

福祉車両展示・体験会

内 容	福祉車両展示、乗降体験
会 場	アフラック・たづくり間道路
協 力	トヨタモビリティ東京株式会社

体験会

内 容	スポーツ体験
会 場	グリーンホール小ホール
協 力	調布市スポーツ協会

街頭募金

内 容	調布リトルリーグ野球協会の少年達による街頭募金		
会 場	調布市役所前庭・市内京王線全8駅		
協力団体	調布リトルリーグ野球協会	寄 付 金	354,246円

○収益金（収益金、協力金、募金箱の合計）

	収益金
収益金	2,115,822円
協力金	337,977円
令和6年度繰越金	364,469円
会場使用料返還金	102,400円
収入合計	2,920,668円

○収益金配分（配分先及び金額）及び経費

1 福祉団体	295,000円
1 NPO法人調布心身障害児・者親の会	130,000円
2 調布市聴覚障害者協会	55,000円
3 調布市遺族厚生会	55,000円
4 視覚障害者福祉協議会	55,000円

2 障がい者等の当事者グループ	110,000 円
1 さるすべり	55,000 円
2 オレンジデイ SENGAWA 運営委員会	55,000 円

3 障がい者施設 (心身障がい者(児)通所授産施設、心身障がい者(児)通所訓練施設、作業所、デイサービス他)	220,000 円
1 NPO 法人わかばの会	11,000 円
2 NPO 法人ひなげしの会	11,000 円
3 NPO 法人爽々苑	11,000 円
4 社会福祉法人調布を耕す会	11,000 円
5 NPO 法人エクセルシア	11,000 円
6 NPO 法人クッキングハウス会	11,000 円
7 NPO 法人リフレッシュ工房	11,000 円
8 NPO 法人羽ばたく会	11,000 円
9 NPO 法人ふみ月の会	11,000 円
10 NPO 法人ポコポコ・ホッピング	11,000 円
11 NPO 法人にこにこの会	11,000 円
12 社会福祉法人新樹会	11,000 円
13 社会福祉法人くすのき会	11,000 円
14 社会福祉法人新の会	11,000 円
15 社会福祉法人大泉旭出学園	11,000 円
16 NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム	11,000 円
17 NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ぴいす	11,000 円
18 一般社団法人生活支援ネットアーリーバード	11,000 円
19 NPO 法人ファーストステップ	11,000 円
20 障害者生活訓練事業所 Porta	11,000 円

4 高齢者施設 デイサービス、介護施設他	44,000 円
1 社会福祉法人桐仁会	11,000 円
2 株式会社創生事業団	11,000 円
3 社会福祉法人至誠学舎立川	11,000 円
4 社会福祉法人東京かたばみ会	11,000 円
5 社会福祉協議会 (小地域交流事業など地域福祉活動事業費として)	0 円

6 福祉まつり運営経費	1,796,397 円
1 会場設営業務委託及びテント等賃借料 業務委託費	1,114,393 円 332,750 円
2 広報費	138,610 円
3 賃借料	0 円

4 教養娯楽費（風船代等）	30,030 円
雑費	91,434 円
5 諸謝金	77,500 円
6 その他事務経費	11,680 円

合計	2,465,397 円
----	-------------

分析・課題

- 令和6年度同様、飲食やバザー、体験コーナー、相談・PRコーナー、ぬりえコーナーを実施した。
- 令和7年度から調布市との共催となったため、会場借用に係る費用が免除となった。令和8年度も同様に市との共催で調整していく。
- 新規参加希望団体をホームページ上で募集。4団体が新規で出展された。今後も引き続きホームページ上で募集をする。
- 全体的に経費が高騰しているが、テント設営業者の見直しを行い、令和6年度より20万円程度コストを減らすことができた。次年度においても相見積もりを取り業者選定をしていく。
- 参加団体との連絡手段を原則メールとし、回答をGoogle Formにしたことで、連絡がスムーズになり、郵送にかかる経費も昨年と比較し減少した。令和8年度以降も同様に行っていく。
- 年間で行うことを事前に想定して準備のスケジュールを前倒して取り組んだ。まつり直前で慌てることなく準備ができたので、令和8年度以降もスケジュールを意識して取り組んでいく。
- 令和6年度同様、資源ごみを回収、テント配置を抽選で決定、福祉団体を土曜日、奉仕団体を日曜日としたことで、参加団体からは概ね好意的な意見をいただいた。
- 開催時間を10時30分～14時としたことについて、参加団体からは賛否両方の意見があった。
- 広報活動として、令和6年度同様ホームページやX（旧twitter）を活用したが、来場者数は例年よりも減少。従来の広報は継続しつつ、より福祉まつりを知ってもらえるように周知を強化していく。
- これまで参加していただいていた団体から、メンバーの高齢化や販売する物品が集まらないことから参加を見送りたいという申し出があった。協力金というかたちで福祉まつりに参加いただいた団体もあるが、今後どのように関わっていただくか検討が必要。

(2) 普及事業

番号	事業名	財源			
		自主 会費	補助	委託	事業
(2)①	会員募集運動				

結果の概要

- 7月を強化月間とし、年間を通して会員募集を行った。
- 小地域交流事業等、地域で行われているイベントや活動での周知を行った。

実績等

- 年間を通して、実施団体に対して、会員募集の協力依頼及びPRを行った。

実施団体
自治会
民生児童委員協議会会長会
第1～6地区民生児童委員協議会

調布市老人クラブ連合会単位クラブ
ひだまりサロン
市内法人・団体（2回）
小地域交流事業（イベントでのPR）

分析・課題

- 会員募集と同時に、社協や地域福祉活動の認知度を高めていく必要がある。広報について検討すると同時に活動の見学に行く等、活動の様子の把握も行っていきたい。
- 令和6年度末に武蔵府中法人会に法人として加入をしたことにより、今後は法人会会員にも案内を行っていきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)②	赤い羽根共同募金運動	共			

結果の概要

- 共同募金運動の推進のために、調布地区協力会に協力して10月1日～3月31日の期間募金活動を行った。
- 自治会に向けた募金協力依頼については、自治会説明会は実施せず、資材を準備し協力を依頼した。
- 街頭募金については、下記の日程で開催をした。

団体	日程
NP0 法人リフレッシュ工房	10月1、7日
調布市少年野球連盟	10月4日
爽々苑	10月6日～10日
調布市少年サッカー連盟	10月11日

- OFC 東京の協力を得て、10月25日に味の素スタジアムにおいて、14回目となるチャリティーコラボピンバッジの販売（1,300個）と募金活動を実施した。味パンダ広場においても、ピンバッジ販売と募金活動を実施し、募金活動では調布市シニアクラブ連合会の協力をいただいた。
- 地域で集めた募金を地域で活用する「地域配分（B配分）」の受配施設・団体にポスター掲示や募金箱の設置を依頼し、募金運動への協力を呼びかけた。

実績等

①募金実績

方法	募金額
個別募金	5,280,364円
街頭募金	850,834円
合計	6,131,198円

②理事会等開催状況

開催日	項目	内容
4月14日	監査	○令和6年度事業監査

4月23日	共同募金調布地区協力会 第1回理事会	○令和6年度共同募金調布地区協力会事業報告 ○令和6年度共同募金調布地区協力会募金会計収入支出決算 (監査報告) ○令和7年度共同募金調布地区協力会赤い羽根共同募金実施要項 ○令和7年度共同募金調布地区協力会事業計画 ○令和7年度共同募金調布地区協力会募金会計収入支出予算
8月6日	共同募金調布地区協力会 第2回理事会	○令和7年度赤い羽根共同募金運動の実施について ○第37回調布市福祉大会について
10月9日	第37回福祉大会	○共同募金協力者へ表彰等を行った。 《表彰状》1人 《感謝状》5団体・4人
10月25日	FC 東京×赤い羽根共同募金協働企画	○限定コラボピンバッジを1,300個販売し、完売した。 ○スタジアム内のほか、味パンダ広場でも実施した。 ○募金を頂いた方に青赤の羽根をお渡しした。
11月2日 11月3日 11月16日	第14回赤い羽根少年野球大会	○東京都共同募金会のキッズサポーター事業の一環として開催した。 ○多摩地域の野球連盟を代表するチームがトーナメント形式で対戦した。
書面開催	共同募金調布地区協力会 第3回理事会	○第22期共同募金調布地区協力会理事の選任 ○第22期共同募金調布地区協力会会長の選任
3月18日	共同募金調布地区協力会 第4回理事会	○第23期共同募金調布地区協力会役員の選任 ○共同募金調布地区協力会会則の一部改正 ○令和8年度共同募金調布地区協力会事業計画 ○令和8年度共同募金調布地区協力会募金会計収入支出予算

分析・課題

○令和6年度と比較し、解散する自治会や一括納入が増えてきている現状があり、自治会の募金額が減額となった。今後自治会加入率も減少している中で、自治会のない地域やマンション等への周知、法人や個人へのさらなる周知を行っていく必要がある。また、街頭募金では雨天中止、FC 東京協働企画では雨天の中での実施もあり、募金額が減額となった。

番号	事業名	財源			
(2)③	歳末たすけあい運動	自主	補助	委託	事業
		歳			

結果の概要

○地域福祉活動を幅広く展開し充実させるため、自治会や調布市民生児童委員協議会等の協力を得て、「歳末たすけあい運動」を実施した。
 ○オンライン決済システムでのクレジットカード決済により、19件 68,889円の納入をいただいた。

○例年どおり、民生児童委員への依頼とともに、市内法人・個人宛にダイレクトメールで募金協力を依頼した。役員の高齢化となり手不足が理由での自治会の解散や、協力してくださる自治会が減少し、令和6年度に比べ実績が減少した。

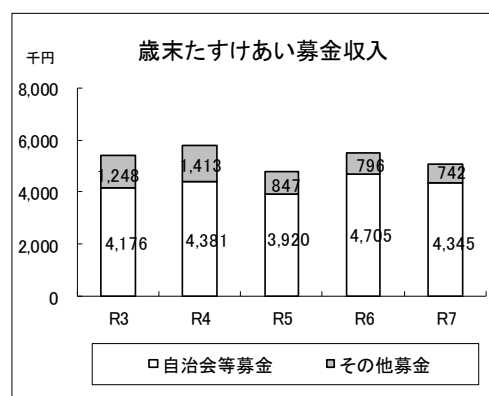
実績等

○12月1日～31日が募金運動期間であるが、例年、募金の受付は翌1月末までとしている。

○集められた募金は翌々年度の地域福祉活動費やチラシ・ポスターの印刷費などの事務費として配分される。

募金実績（収入）

区分	件数	金額（円）
自治会	176件	4,287,936
②法人・団体	41件	463,293
③個人・他	102件	254,373
④募金箱	10件	17,634
⑤令和7年2月～令和7年3月受付募金 （令和7年度繰越金）	9件	63,096
⑥令和8年2月～令和8年3月受付募金 （令和8年度繰越金）	8件	49,821
合 計	346件	5,136,153



※ 令和7年度募金運動の受付締切は令和8年1月31日までとなっており、それ以降に受け付けた募金は令和8年度募金収入（繰越金）として取扱う。そのため、令和7年度募金実績として報告する額は、上記合計額から⑥を除いた額（5,086,332円）となる。

分析・課題

○自治会の解散や高齢化による活動の縮小の影響もあり今後の増額は難しい状況である。依頼先の拡大やPRの方法を工夫するなど、地域福祉の向上に向けて模索したい。

(3) 宣伝事業

番号	事業名	財源			
		自主 共基	補助 市	委託	事業 ○
(3)①	機関紙「ふくしの窓」の発行				

結果の概要

○社協活動の周知と福祉・地域に関する情報を発信するため、機関紙「ふくしの窓」を6回発行し、市内全戸にポスティング配布した。

○ポスティング作業については、福祉への理解と市内の障がい者・高齢者の雇用創出を目的として、調布市福祉作業所等連絡会及び公益社団法人調布市シルバー人材センターへ引き続き依頼した。

調布市福祉作業所等連絡会及び公益社団法人調布市シルバー人材センターとポスティングにおける課題等の意見交換を行った。

○より見やすくわかりやすい紙面になるよう、市民モニターや広報部会の意見を踏まえ、フォントの統一や、わかりづらい用語の注釈記載、写真やイラストなどの積極的な活用に努めた。

○1～3 面の特集記事については、社協が実施している事業を特集し、多くの市民に事業や活動を知ってもらう機会となった。

○イベントカレンダーでは、社協以外からの団体の情報も申請に基づき掲載した。

実績等

発行部数	1 回につき 119,750 部
形式・内容	タブロイド版、8 面構成。カラー印刷
発行月	奇数月
配布方法	市内全戸へのポスティングによる配布、関係機関窓口、希望者への郵送
モニター	モニター8 人より意見を聞き、紙面づくりに反映させた。
その他	7 月号に協力金の郵便振込用紙をミシン目で切り取れる形で掲載した。

分析・課題

○令和 6 年度に引き続き、各面とも写真の掲載を増やし、活動の様子や内容についてわかりやすい紙面になるよう心がけた。また今後も色使いや割付を含め、検討していく。

○1 面から 3 面については、社協が実施している事業を特集したことで、事業について市民や福祉事業所などから問合せが多くあり、またモニター意見でも内容がわかりやすいなど評価をいただいた。今後もさらに事業や活動を知ってもらえるよう、特集を組んでいきたい。

○いただいたモニター意見の中から質問項目を選択して、モニターへの回答を行った。

番号	事業名	財源			
(3)②	社協ホームページの運営	自主	補助	委託	事業
		基	市		○

結果の概要

○総合福祉センター年間休館日や福祉センター関連等、最新の情報を発信するため、随時更新作業を行った。

番号	事業名	財源			
(3)③	SNS の活用	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○令和 2 年度開設した YouTube チャンネルを活用し、福祉まつり等の事業や地域で取り組まれる活動、福祉情報等を発信した。

○令和 7 年度までの累計で登録動画数 57 本、チャンネル登録者数人、視聴回数 1,712,452 回、チャンネル登録者数 8,590 人であった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)④	「社協のしおり」の発行	共基	市		○

結果の概要

- 令和7年度は1,700部発行した。
- 各部署と協力し、最新の情報とわかりやすい内容に努めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑤	地域マスメディアの活用				

結果の概要

- 調布FMの毎月第3木曜日13時30分から13時45分までの「調布市ほっとインフォメーション」の時間枠の中で、社協情報を紹介した(計12回)。
- 毎月1日発行の調布市民放送局広報紙「調布市民放送局ニュース」にて、事業や施設の紹介、イベントや講座のPRを「調布社協ちょビットインフォメーション」として掲載した(計12回)。
- 「テレビ広報ちょうふ」にて、事業の紹介を行った(計3回)。

実績等

- 調布FM出演状況

4月17日	通所介護係事業紹介 ふれあい給食事業紹介と利用者さん募集
5月15日	あんしん未来支援事業 小地域交流事業
6月19日	調布市社会福祉協議会「ちょビット協力金」募集 就労支援室ライズ「就労講演会」
7月18日	受験生チャレンジ支援貸付事業 介護職員初任者研修受講者募集
8月21日	調布市シニアクラブ連合会 事業紹介 調布市希望の家 事業紹介
9月18日	第37回調布市福祉大会／ひだまりサロン20周年記念交流会 赤い羽根共同募金運動
10月16日	布田わくわくひろばまつり 地域のつどい
11月20日	第48回 調布市福祉まつり 令和7年度歳末たすけあい運動
12月18日	放課後等デイサービスぴっころ令和8年度利用児募集 いきいきクラブ調理運営協議会紹介
1月15日	調布市社会福祉協議会「ちょビット協力金」募集 地域福祉権利擁護事業
2月19日	令和8年度地域福祉活動支援事業募集 手話講習会・中途手話講習会受講者募集

3月19日	ドルチェサロン紹介 学習支援の紹介
-------	----------------------

○市民放送局広報紙掲載状況

4月	自動販売機
5月	アイビー・よつば事業紹介
6月	くらしサポート係紹介
7月	ちょビット協力金募集
8月	福祉大会
9月	ひだまりサロン事業20周年
10月	地域のつどい
11月	調布市福祉まつり
12月	歳末たすけあい運動
1月	福祉人材センター紹介
2月	しあわせ・福祉・はこぶ箱（募金箱）
3月	あんしん未来支援事業

○テレビ広報ちょうふ放送状況

9月20日号	ひだまりサロン20周年
10月20日号	第12回まち活フェスタ
11月20日号	第48回調布市福祉まつり開催

分析・課題

○年間の出演テーマを精査し優先順位をつけるなどして、調整していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑥	ウインドウ美術館				

結果の概要

○総合福祉センター南側ウインドウを提供して、配偶者暴力根絶を訴えるパープルリボンプロジェクトのパネル展示や調布市パラアート展受賞作品の展示を行った。

○調布市地域福祉活動支援事業の展示を行った。

5 関係機関との連携

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	役員等その他機関参画				

結果の概要

○調布市、東京都社会福祉協議会その他関係団体の委員会等へ役員・職員が参加した。

実績等

○各団体からの要請に伴い役職員が出席し、求められる役割を果たした。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	民生児童委員				

結果の概要

○民生児童委員との連携強化のため各種協議会に参加し事業の周知、協力依頼などを行った。

実績等

○民生児童委員全員協議会、民生児童委員会長協議会、地区民生児童委員協議会、民生児童委員各部会へ管理職、担当職員が適宜参加した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	自治会				

結果の概要

○会員募集運動や募金運動へのご協力依頼、資材確認を実施し、回答をもとに資材を配達した。

実績等

○令和6年度に協力実績のない自治会へも協力依頼を行い、令和7年度の協力につながった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市自治会連合協議会				

結果の概要

○連合協議会の理事会に参加として職員1人を派遣した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	北多摩南部ブロック連絡会				

結果の概要

○社協北多摩南部ブロック連絡会の総会や連絡会、研修会等に参加し、近隣5市社協での情報交換、交流を行った。(令和7年度幹事社協は、狛江社協)

実績等

会議・研修会等	開催日	内 容
第1回事務局長会	5月20日	① 令和7年度北多摩南部ブロック社協会長等役職員連

		絡会総会について ② 令和6年度北多摩南部ブロック社協 事業報告・会計決算について ③ 令和7年度北多摩南部ブロック社協 事業計画(案)・会計予算(案)について ④ その他情報交換北多摩南部ブロック社協会長等役職員連絡会総会について ⑤ 情報交換
第2回事務局長会	11月14日	① 令和7年度北多摩南部ブロック社協会長等役員研修会について ② 身寄りのない高齢者の支援について ③ その他情報交換北多摩南部ブロック社協会長等役職員連絡会研修会について ④ 情報交換
会長等役職員連絡会総会	7月1日	① 令和6年度事業報告について ② 令和6年度会計決算について ③ 令和6年度監査報告について ④ 令和7年度事業計画(案)について ⑤ 令和7年度会計予算(案)について ⑥ 研修「地域公益活動推進協議会から見た北多摩南部ブロック社協の取り組みについて」 講師：東京都社会福祉協議会地域福祉部長 小川 和江 氏
会長等役職員連絡会研修会	2月20日	研修内容 ① 東京都内ボランティアセンターの状況等について 講師：東京ボランティア・市民活動センター副所長 森 純一 氏 ② 狛江市市民活動支援センターについての説明及び館内見学 説明：狛江市市民活動支援センター職員
第1回職員連絡会	8月15日	① 令和7年度職員交流会について ② 令和7年度職員研修会について ③ 情報交換
第2回職員連絡会	10月14日	① 令和7年度職員交流会について ② 令和7年度職員研修会について ③ 情報交換
第3回職員連絡会	12月15日	① 令和7年度職員交流会について ② 令和7年度職員研修会について ③ 情報交換
職員研修会	2月13日	北多摩南部ブロック社協職員の交流
第1回ボランティア・市民活動セン	9月9日	① 令和7年度北多摩南部ブロック社協の取り組みについて

ター担当者会議		② 令和7年度北多摩南部ブロック社協ボランティア担当者会議スケジュールについて ③ 情報交換
第2回ボランティア・市民活動センター担当者会議	11月27日	① 情報交換 ② その他
第3回ボランティア・市民活動センター担当者会議	2月12日	① 各地域の地図に福祉施設とハザードマップの情報を書き入れて災害時要援護者の支援を考えるワークショップ
第1回地権連絡会	8月8日	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 情報交換
第2回地権連絡会	2月19日	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 情報交換
第1回地域福祉コーディネーター担当者会議	7月7日	地域福祉コーディネーター業務、重層的支援体制整備事業の取組状況等について情報交換
第2回地域福祉コーディネーター担当者会議	2月16日	地域福祉コーディネーター業務、重層的支援体制整備事業の取組状況等について情報交換
第1回生活福祉資金担当者会議	2月17日	相談体制、特例貸付への取組状況、本則の償還管理・民生委員との連携等について情報交換

番号	事業名	財源			
(6)	調布市福祉作業所等連絡会	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○調布市内障害福祉団体の情報交換及び共同作業事業を目的とする連絡会の事業に、「希望の家」、「障害者地域活動支援センタードルチェ」、「放課後等デイサービスぴっころ」が参加した。

番号	事業名	財源			
(7)	地域包括支援センター連絡会	自主	補助	委託	事業

結果の概要

○毎月第3木曜日に開催される連絡会に参加し、調布市福祉健康部各課や地域包括支援センターとの情報共有や情報提供を行った。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	権利擁護連絡会				

結果の概要

○5・7・9・12・2月に開催された連絡会に参加し、調布市高齢者支援室や地域包括支援センター、調布市福祉総務課との情報共有や事例等を通して権利擁護についての理解を深めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	調布市障害者地域自立支援協議会				

結果の概要

○調布市自立支援協議会のワーキンググループの一つを担い、障がい者福祉の相談及び支援機関・障がい者団体等を中心にネットワークづくりを進めた。

P104 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	調布地域精神保健ネットワーク連絡会				

結果の概要

○調布地域精神保健ネットワーク連絡会の事務局を担い、医療・保健・福祉が連携し、問題解決の方向性を検討した。

P246 参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会（調布社福連）				

結果の概要

○調布市主催のフードドライブに年3回協力した。株式会社パルコ調布店、トリエ京王調布が参加し、企業との連携も深まった。配布では、市内福祉施設・事業所、子ども食堂・子ども向けの居場所等の団体、地域交流を目的にした活動団体、フードバンク等へ広く配布することができた。

○第1回から第5回の幹事会はオンラインでの開催であったが、第6回の監事会は対面で実施となった。フードドライブやなんでも相談窓口の現状報告や法人間の連携について意見交換を重ねた。

○令和6年度実施した人材確保の研修について、さらに深掘りした内容を学びたい意見が多くあり、令和7年度についても引き続き同じテーマかつ、教育現場の専門職にもご登壇いただき、現場の声も聴きながらの研修となった。

実績等

総会 (41 法人)	第1回総会 7月11日 17 法人出席 ハイブリッド開催 ・令和6年度事業報告・決算・監査報告、令和7年度事業計画・予算
---------------	---

	・第1回フードドライブ報告、ちょビット協力金のご案内 第2回 2月9日 13法人出席 ハイブリッド開催 ・新任幹事・監事 紹介 ・研修会 「ここで働きたい」と学生に言わせるための、採用再構築セミナー 講師：トラストワース株式会社取締役 泉 良 氏 情報提供：日本福祉教育専門学校通信教育事業部部長 沖 大佑 氏 日本児童教育専門学校キャリア・産官学連携課長 谷村 明門 氏 ・次回フードドライブについて
幹事会 (8法人)	第1回 5月16日 7法人出席 オンライン開催 ・会長、副会長、監事の改選 ・令和6年度事業報告及び決算(案)、令和7年度事業計画及び予算(案) ・令和7年度第1回総会、第1回フードドライブ※オンライン開催 第2回 8月25日 5法人出席 オンライン開催 ・第1回総会報告 ・令和7年度の事業計画に基づく検討課題、及び研修課題 第3回 10月23日 5法人出席 オンライン開催 ・幹事の退任 ・第2回総会研修会（内容、時間について） ・チラシ、冊子について 第4回 12月16日 4法人出席 オンライン開催 ・第2回総会研修会（研修内容の再確認） ・チラシ、冊子について ・フードドライブの報告、予定 第5回 1月27日 6法人出席 オンライン開催 ・幹事と監事の後任について ・第2回総会研修会（当日役割等の確認） ・次年度事業計画等 第6回 3月10日 7法人出席 会場開催 ・第2回総会・研修会振返りについて ・第3回フードドライブの報告 ・令和7年度予算執行について ・令和8年度の事業計画について
取組	調布市が主催するフードドライブに、株式会社パルコ調布店、トリエ京王調布、調布市消費者団体連合会とともに協力した。 第1回 フードドライブの実施 6月18日 11法人参加 2,513点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等9団体に配付した。 第2回 フードドライブの実施 11月1日 9法人が参加（調布市主催の環境フェアに参加） 1,300点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等5団体に配付した。 第3回 フードドライブの実施 2月19日 11法人が参加 1,232点の食品を収集し、福祉施設やボランティア団体等11団体に配付した。

6 計画の推進・策定

番号	事業名	財源			
		自主 会基	補助	委託	事業
(1)	調布市地域福祉活動計画の推進・策定（重点項目）				

結果の概要

○第6次調布市地域福祉活動計画の推進

- ・地域福祉コーディネーター及び地域支え合い推進員による個別支援ニーズの把握、地域内の活動者等との関係構築及び地域づくりのための支援を通して、8つの福祉圏域ごとに、地域住民一人ひとりが地域生活課題を自分事として捉え、その課題の解決を図るための住民主体の活動を推進した。

実績等

<市全域>

- 第6次調布市地域福祉活動計画の行動目標の推進を図るために、地域づくり事業勉強会（ちょうふ地域福祉フォーラム）を2回開催した（詳細はP89参照）。地域の実情や課題の理解を深めるとともに、自分たちができることや、子どもから高齢者まで世代や属性を超えて助け合える地域づくりについて考える機会となった。

<各福祉圏域>

- 計画推進2年目を迎え、この間の地域福祉活動の推進状況や地域情報の共有を図るため、各福祉圏域で振り返り会を開催した。

圏域	開催日	会場	内容	参加人数
緑ヶ丘 滝坂	3月7日	緑ヶ丘地域福祉センター	「つながる・見える・広がる～地域マップ交流会～」 ・計画策定後に立ち上がった活動等の報告 ・活動やまちのおすすめスポットの見える化マップの作成 ・グループワーク	8人
若葉 調和	11月9日	神代団地	「つながりづくり～神代団地祭をきっかけに～」 ・地域住民からの手作り品及び寄付物品のバザー出店 ・シールアンケート ・情報交換	14人
上ノ原 柏野	10月21日	グランダ深大寺 ～深大寺自然広場（かに山）	「まち歩き～地域の魅力を再発見！～」 ・自然豊かな地域のおすすめスポットを紹介しながらまち歩き ・地域住民、保育園園児、有料老人ホーム入居者の交流 ・情報交換	49人
北ノ台 深大寺	12月3日	希望の家深大寺	「ほっこりゆったり話そう まちのえき北ノ台・深大寺ミーティング」 ・地域福祉コーディネーター・地域支え合い推進員活動報告	7人

			・グループワーク	
第二 八雲台 国領	3月5日	調布市市民プラ ザあくろす	「3 地域ふれあい交流カフェ」 ・参加者による活動紹介 ・グループワーク	11 人
染地 杉森 布田	3月11日	染地地域福祉セ ンター～多摩川 河川敷	「多摩川楽しみ方発見～春の訪れ！植物編～」 ・春の多摩川べりの観察（講師：多摩川自然情報 館解説員） ・軽食をとりながら情報交換	28 人
第一 富士見台 多摩川	①4月30日 ②3月29日	①総合福祉セン ター ②総合福祉セン ター～野川沿い ～プロペラカフ エ	①「第一・富士見台・多摩川小圏域 第6次調布 市地域福祉活動計画交流会」 ・地域活動及び社会資源の共有と報告 ・情報交換 ②「ぶら～り調さんぽ」 ・ネイチャービンゴを活用したまちあるき ・グループワーク	①16 人 ②8 人
第三 石原 飛田給	2月19日	調布学園地域交 流センターまん まる	「ここからプロジェクト～ここから見つかる！ 始まる！やりたいこと～in 第三・石原・飛田給 小学校圏域」 ・活動者や関係機関職員によるトークセッション ・グループワーク	20 人

分析・課題

- 第6次調布市地域福祉活動計画の策定において挙げた地域住民の想いや声を実現するために、6年間の推進期間を通して、地域住民等とともに考え行動に移しながら、定期的にその過程を振り返り、次なる行動につなげ、地域住民等一人ひとりが地域への愛着を持って、よりよい地域づくりを目指す環境をつくっていく必要がある。
- 社会的少数者や匿名性に配慮が必要な社会課題の解決に取り組むため、常に時代の変化に沿った個別課題ニーズの把握に努め、地域住民や関係機関へ共有をしていきたい。
- 社会参加や中間就労の場の構築を目指すため、地域住民や企業・商店、関係機関等と協働し、農福連携や新たな社会資源の開発を図っていくことが求められる。

7 苦情対応

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	苦情対応				

結果の概要

- 苦情解決実施要綱に基づいた苦情の申出が1件であり、苦情解決実施要綱の第9条に基づき第三者委員に対応をしていただいた。
- 寄せられた苦情・要望は、サービスを改善する機会と捉え丁寧な対応と即時性ある改善に取り組んだ。
- 苦情・要望は、第三者委員会議へ報告し意見をいただいた。

実績等

○苦情・要望の種類別受付件数

	種類（内容）	合計（件）
1	建物、環境整備の不具合や迷惑	0
2	職員の対応への不満	11
3	職員のケアレスミスの指摘	0
4	利用者サービスへの不満	0
5	その他事業内容への不満	4
6	会費や募金についての疑問や不満	0
7	その他	4
合 計		19

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(2)	第三者委員会議				

結果の概要

- 法人（希望の家を除く）としての第三者委員会議を2回開催した。
- 法人とは別に、希望の家（調布市希望の家及び希望の家深大寺）の第三者委員会議を2回開催した。
- 事務局で対応した市民からの苦情、意見、事故等を報告し、助言と意見をいただいた。

8 個人情報の保護

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	個人情報の保護				

結果の概要

- 事業利用に伴う契約時や申請時に個人情報取扱業務説明書を基に、利用者へ説明を行った。
- 個人情報を掲載する文書の使用に当たっては、使用目的を制限する取扱注意事項を明記し、個人情報の保護を徹底した。
- 個人情報保護に関する研修の実施に向けて検討を重ねた。

9 危機管理体制

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	危機管理委員会、危機管理責任者の設置				

結果の概要

- 危機管理に対する職員の意識を向上し、事故の原因分析と防止のための改善策に取り組んだ。
- 事故・ヒヤリ・ハット報告を行い、係ごとに事故防止策に取り組んだ。

○毎月実施される係長職以上の「運営会議」の中で、危機管理委員会を開催し、事故、ヒヤリ・ハット事例の報告を行った。

○事故報告は定期的に、第三者委員会議、三役会、理事会及び評議員会に報告した。

10 災害対策

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	災害対策				

結果の概要

○災害時の安否確認に必要となる職員の緊急連絡網の更新を行った。

○総合福祉センターにおける防災訓練の実施、備蓄品補充等災害への備えの充実を図った。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	防災訓練の実施と備蓄品等の充実	会			

結果の概要

○総合福祉センターの防災備蓄品の点検を行い、不足品目の補充を行った。

○1月20日、総合福祉センターにおいて地震及び火災発生を想定し、自衛消防訓練を実施した。

○4月、8月、12月の年間3回、職員及び施設管理委託業者と協働し、総合福祉センターの非常用放送設備の動作確認と館内の危険箇所の確認を行った。

実績等

○総合福祉センターの防災備蓄品を点検し、消費期限が近づいたアルファ米などの食品や、カセットガスボンベの入替を行った。

○メーカー推奨使用期間を超えた防災用ヘルメットを14個の更新を行った。

分析・課題

○災害備蓄品については定期的に在庫の管理を行い、災害支援の実情を参考に必要と思われる物については順次補充していく。

○引き続き、期限を迎える備蓄品、防災用品の更新を順次行っていく。

○消防避難訓練の定期的な実施により、避難経路の確認や備蓄品の把握に努め、防災意識の醸成を図っていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	災害ボランティアセンターの準備				

P193 参照